

平成 30 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 原町成年寮

障害福祉サービス多機能型事業所
奥戸福祉館

I 運営全般

1 運営総括

今年度は新卒利用者が1名、6月に1名入館した。1名が結婚のため退所し10月から長期欠席が1名。生活介護事業所が37名就労継続B型事業所が24名の合計62名で活動を行った。

シャインと送迎、宿泊旅行、やまもも祭、つむぎ等で連携した。

作業面では生活介護事業所では、施設外就労2カ所目の老人ホームでの給食下膳作業をはじめた。レンタルタオル作業も12月よりスタートさせた。

8月より奥戸福祉館の活動が難しい利用者2名がつむぎに長期実習を行った。環境を整えてプログラム化したことで福祉館では落ち着かず荒れていた利用者が落ちついて活動ができるようになった。

利用者の平均工賃3万円にする3か年計画の3年目の年だった。毎月1回職員会議で目標金額の確認を行い、売り上げ等数字への意識をした。保育園の給食パンの注文が増え外部へ積極的に活動を広げた結果、就労継続B型の籍の方の平均工賃を3.5万円に達成することができた。しかし清掃作業が難しい利用者への活動や清掃作業終了後の活動のプログラム化が難しかった。

新規事業で始めたクッキー、洗車隊は軌道に乗らず、ウエス作業も仕入れが難しく今年度で撤退することとした。

地域交流で夏休みを利用したパン教室を企画し100名近く参加者が集まり急遽日程を増やし大好評だった。

タスカルカードは2階作業の人数が大幅増加した為機能しづらくなってしまった。来年度はタスカルカードを再構築したい。

外部へ出ることが増えたことで年度初めで新規職員(パート職員含む)の雇用を多くした。新しい職員が増えたため引き継ぎや細かい支援、配慮に欠ける部分が生じてしまったので今後マニュアル作成や研修、支援の見直し等行い支援の向上を図りたい。

職員教育については新人職員にはOJT、外部の研修に参加した。

福祉館の職員間のコミュニケーションをよくするために「にこりほっと」を始めたがうまく機能しなかった。しかし年度後半に「風穴プロジェクト委員会」を立ち上げた。ジョブローテーションや目安箱設置、交流会の企画等具体的に提案されているので実践していきたい。育成計画作成、中間見直し、必要に応じて職員面談を行った。

25周年記念行事で8月にディズニーオンアイスとバカ殿を観に行った。

2月の土曜日に余暇外出で東京ディズニーランドへでかけた。

II 利用者支援

I 事業活動

【就労継続B型事業所】 月平均工賃 35,734 円（昨年度 28,585 円）

＜パン製造販売＞

日々の作業の効率化を図るため、オープンのタイマーやドウコンディショナーとオープンの連動をし、製造職員の負担の軽減をした。新商品の開発や既存の商品の見直しなどを行った。

昨年度と同様、ロスを無くすよう販売先に合わせて販売商品を厳選し、顧客のニーズを意識した販売活動ができるよう努めた。しかし、データの蓄積とはいかず、今後の課題として残った。

衛生管理として、入念な清掃を行ってきたが、保育園納品のパンに異物が混入したことが数件あり、塵埃清掃機ならびに粘着マットを導入した。またネットを使い捨てるものにし、髪の毛が製造中も落ちないように対策を強化した。

地域交流の一環として、近隣の保育園、小学校を対象にパン体験教室を行った。昨年度よりも盛況で予約が殺到し、急遽予定日を1日増やして、午前午後と分けて6回分の体験とした。利用者の技術力を見せることを兼ねた福祉現場と地域社会とをつなぐイベントとして定着しつつあると感じられた。

そのほかにも、日々の作業での技術力を競い合うパンコンクールを行ったり、衛生の話で全体に周知が必要なことを伝えたりと、利用者個人やチーム全体の士気をあげるよう対応した。

販売グループでは、既存の販売会からふらすちよいの10周年式典など幅広い内容のイベントに参加、販売をすることができた。また、地元のイベント会社からの紹介で新規の販売会が多数あり、パンが早々に売り切れてしまうこともあった。個数を見極め、次回につなげていく。

SBBの納品は10月よりヴィゼポレールと共同配達となり、区民ホール販売の中止が数ヶ月あり、またイベント販売が悪天候の為の中止等があり売り上げが伸び悩んだ。しかし新規保育園の給食、おやつパンの契約獲得にむけて利用者にも営業に参加してもらい、パンの説明だけではなく熱意も伝えることができた。その結果定期注文をしてくださる園が5園増えた。注文回数も多くなった。しかしパンの異物混入や配達予定時間に間に合わないといった事もあり、その都度謝罪、時間や衛生に気遣い再発防止に努めた。

年度末にイトーヨーカドー立石店や、JRA、大塚商会などあらたな販売先として声をかけてもらえる機会が多くあった。相手のニーズとこちらの用意を合わせて体制を整えていく。

情報発信としてはパン通信を年4回発行し情報周知を行った。

今年度は高校を卒業し、すぐに製造での作業を開始した方が1名いる。他の利用者を指導係としてつけ、作業を行ってもらい、当初は不慣れな環境の中だったが、現在では自分の役

割を持ち、製造内で黙々と取り組む姿が見られるまでに至った。

生活寮入寮者 1名

※今年度、母子家庭の利用者の母親が他界され、緊急の対応で寮へ入寮した方が1名いた。現在は、以前住む家に帰りたがる様子も見られるが、寮生活を受け入れている様子である。

【パン体験】

参加人数 計93名

7月29日、8月4日、8月25日

売上実績 19,400,796円 (昨年度売上実績 21,259,171円)

SBB	4,339,500円	(5,337,000)
ぷらすちよいす	1,734,229円	(2,114,269)
保育園給食	5,216,992円	(4,173,106)
ぱぱす販売	256,435円	(351,780)
南葛SC	26,920円	(72,530)
東急ストア	118,998円	(258,120)
ビバホーム	45,980円	(172,860)
イトーヨーカドー	324,970円	(350,020)
販売会等	2,575,765円	(4,193,395)
やまもも謝礼	155,500円	(117,320)
協力販売	797,633円	(918,445)
定期食パン	491,390円	(515,290)
おくだやももちゃん	592,360円	(764,255)
その他	2,724,124円	(2,503,696)

<クッキー製造販売>

二年目のクッキー事業ではタスカルカードを導入し、利用者の自主性に力を入れた。

作業前にボードの前で確認をして、自ら作業を開始する利用者が増えた。また、型はめコントロールにも積極的に取り組んだり、カードを見ながら次々に作業を進める利用者もでてきたりと作業意欲が向上している様子が見られた。利用者間では間違いに気づいたり、職員の指示なくお互いに助け合いの精神で作業の分担をすることができた。

毎週10ケースがコンスタントに出荷されるようになり最高では15ケースの場合もあった。ブロックタイプの試作も行なったが、先方の準備が整わずに納品には至らなかった。

配送代、原材料の大幅な値上げがあったが買い取り価格は上がらないため利益が減少した。

今後、受注量が増える見込みがなく、また確認作業での職員負担が大きく利用者の作業内容に限られるため今年度での撤退を決めた。

自主生産品では販売をパンと共に行なった。販路拡大では保育園等にチラシを配布し地域の方からギフトの注文をいただくこともあった。新商品開発は定期的には行えず、マンネリ化した商品が並ぶことが多かった。

売上実績 3,959,200 円	(昨年度売上 2,288,776 円)
バイオクラ食養	2,708,166 円 (1,294,879)
自主生産	1,490,954 円 (899,347)

地域生活支援

- ① 自立生活訓練：立石寮を利用し地域生活体験や GH への見学を実施。福祉館の利用者が住んでいる場所をみることで地域生活のイメージがつきやすく、今後の生活について選択肢を増やす事ができた。

寮見学：2名

- ② パンコンクール：2月26日（製造）～あんぱん包み
クッキー型はめコンクール：2月8日

【生活介護事業所】月平均工賃 17,456 円（昨年度 15,529 円）

今年度は6月より新入館者1名の計41名で活動を行っている。

4月より開始した2件目となる施設外就労「リハビリケアかつしか」での洗い場作業は、参加する利用者の方々の新たなやる気と活躍の場を生み、「スマイルホーム」とはまた違った達成感を感じていただける事が出来た。週5日、休日の出勤も含め、厨房の洗い場を任せられ現在も順調に稼働している。

「スマイルホーム西井堀」では、今までの週3日作業から、週5日清掃作業を行うようになり、週2日は入居者の居室清掃も行うようになった。これは前年より行ってきた福祉館の活動が認められ、作業の業務拡大と利用者の方々の自信と成長に大いに繋がった。

原町グループホーム清掃は前年より大幅に11カ所増え、毎日午前・午後とスケジュールして、多くの利用者が清掃作業に参加できるようになった。

アンジュより引き継いだレンタルタオルの業務も12月より開始しており、受注先（グループホーム）を増やしている。1階に作業場を移した洗濯班は作業も順調に進められ落ち着いている。アルミ缶リサイクル業務も地域の方々のご協力もあり収入（作業量）を増やす事が出来た。

仕入れゼロを目指したウエス業務だったが、需要も少なく3月末で終わりとなった。ポストウェイは作業及び収入が安定せず6月で終了した。洗車隊は営業活動が振るわなく業績が

思ったようには伸びなかった。

つむぎの活動に8月より実習として2名の利用者が参加し、自閉症に特化したプログラムを受け充実した日中活動を送られた。他に車イスを使用した利用者1名が、グループホームでの意向もあり9月より1年半限定だが、週2日ウェルピア葛飾にてリハビリプログラム(機能訓練)を受ける事になった。福祉館では12月にPTを招き、機能訓練が必要な利用者の方々にリハビリプログラムの見直し、追加を行った。

3月に行われた教養講座は、清掃グループを中心に身だしなみについて行われ、利用者の方々が自分自身で気づきを行える仕組みを作り出し効果をもたらした。同じく清掃グループ内で清掃コンクールを行い、利用者の方々の自信に繋げる事が出来た。

ウォーキングを兼ねた地域清掃を実施。ラジオ体操を毎日行っている。シルバー外出では高齢の利用者の方々を対象とした外出を行い作業とのメリハリを図った。

タスカルカードは清掃班の利用者増員に伴い、タスク(作業)管理の効果が薄れてしまい、利用者の作業評価をする事が難しくなってしまった。館内清掃は日によってやらないことがあり不十分な所が目立ってしまった。

売上実績 9,649,815円(昨年度5,214,726円)

① 清掃洗濯班 8,378,922円

・館内清掃・洗濯	1,440,000円	(1,440,000)
・生活寮清掃(お墓清掃含む)	2,527,902円	(1,405,669)
・施設外就労(老人ホーム清掃)	4,333,820円	(758,100)
・洗車隊	77,200円	(62,060)

② ウェス・リサイクル班 1,270,893円 (1,548,897)

・ウェス	486,725円	(552,237)
・アルミ缶	170,141円	(266,173)
・お茶	179,130円	(265,570)
・ぱど	10,472円	(57,033)
・かわら版	300,000円	(300,000)
・レンタルタオル	109,035円	
・その他	15,390円	(107,884)

2 余暇支援(グループ外出)

2月16日(土)に東京ディズニーランドへ利用者37名で外出した。皆楽しめた様子だったが、休日ということもあり人が多いため行動が難しく平日の方が落ち着いていたかもしれない。

3 就労援助

葛飾区就労支援事業（葛飾区補助事業）

葛飾区障害者就労支援センターと連携し、実習や中間的就労を通じて福祉館利用者の働く意欲の底上げや自信を高め、外部での社会的経験が出来るよう努めた。

具体的には区役所、喫茶ミモザ、カフェチャチャチャ、自転車リサイクル工房における中間的就労、就労支援センターでの実習などがあげられる。

【中間的就労】

実習場所	実習期間
① カフェ CHACHACHA	6月19日～6月29日
② カフェ CHACHACHA	9月11日～9月14日
③ カフェ CHACHACHA	12月11日～12月21日
④ 区役所実習	8月23日
⑤ 区役所実習	10月4日
⑥ 区役所実習	2月20日
⑦ ミモザ実習	5月22日～5月26日
⑧ ミモザ実習	9月25日～9月29日
⑨ ミモザ実習	10月2日～10月6日

4 保健

(1) 健康管理

①毎月の体重測定を行い、体重表を配布し同時に血圧測定も行い、健康状態の目安にした。

②定期健康診断（7月30日）福祉館61名 シャイン36名 計97名

区、かかりつけ医での健診 8名 今年福祉館、シャインと合同で行った。

結果については家庭、寮に連絡し、再検査及び現在も経過観察中。

(2) 歯科健診（6月6日・1月30日）歯磨き指導（9月13日・3月14日）

歯科検診では、個人の結果を家庭、寮に伝えた。歯磨き指導は全体的に上手く磨けていると医師より評価を受けている。しかしその一方で、歯周病等が悪化している利用者もおり、指摘を受けている。その為指導を受けた利用者については連絡帳等に記載し、家庭、寮の方に伝えている。

(3) 機能訓練

機能訓練の必要な利用者8名を対象に、12月7日PTによる訓練見直しを行った。内5名は今後も機能訓練を継続していく。

(4) インフルエンザ予防接種

嘱託医によるインフルエンザ予防接種を11月12日に希望した34名に行った。

嘱託医との連携

毎月1回内科相談では、血圧の変動のある方、糖尿病の方、健康診断の結果から利用者の状態をアセスメントし、通院等を勧める事で治療の早期発見に繋がった。

衛生管理

細菌検査(検便)は、パン製造、販売従事者(利用者・職員)月1回

クッキー従事者(利用者・職員)隔月1回行った。

給食の食器洗い従事者(利用者・職員)6・7・8・9月は月2回。他の月は月1回で行いその他の利用者・職員は年1回行った。

職員の健康管理

1月～2月で年1回 健診センターにて実施した。

流行性のウイルス感染は館内でも流行した。怪我、ウイルス感染の多い一年であった。

①利用者同士の喧嘩により病院搬送2名(うち救急搬送1名)。

①骨折6名。

②インフルエンザB型罹患 利用者12名、職員6名

③インフルエンザ罹患 A型 利用者9名、職員5名

5 全館行事

宿泊旅行は7月に日光へ行った。江戸村へ行き、カラオケ宴会で盛り上がった。

やまもも祭は開所25周年として10月28日に行った。忘年会は12月26日にサンルートプラザ東京にて、食事を楽しみながらカラオケ大会をした。スライドショーで一年間を振り返った。成人を祝う会と新春演奏会を1月に行った。

開所25周年の外出行事として、希望をとってディズニーオンアイスと志村魂の観劇に行った。3日間に分けてグループごとに観劇と食事を楽しんだ。

毎月月初めにみんなの集まりを行った。毎月、皆勤賞、月間努力賞の表彰をし利用者のモチベーションアップにつなげるようにした。

6 地域交流

【地域交流】

今年度も7月29日(日)、8月4日(土)、8月25日(土)に夏のパン体験を行った。

募集をかけたところ昨年度よりも反響が大きく体験日を増やしている。体験後には保護者の方より「とてもいい体験でした。来年も行ってください」という声もあり、いい反響をいただいている。

【ボランティアの受け入れ】

やまもも祭でたくさんの方にボランティアとして参加していただいた。

7 利用者自治会

今年度は4月に選挙を開き、5月から新しい役員で活動を行なった。役員それぞれが積極的に意見を出し合い、互いに協力しながら企画、運営ができた。職員はイベント運営時に各々の意見が反映できるように援助した。

8 家庭との連携

連絡帳を活用して家族や寮との連携を図った。必要に応じて電話連絡や面談グループホームの利用者は合同処遇会議を行ったりグループホームの会議に参加した。

また、クッキーの購入、洗車隊の協力を依頼した。

定例家族連絡会 4/12 12人 6/14 17人

9 リスクマネジメント

・パン関係2件、骨折3件、けが2件、服薬関係2件、自動車こする2件。
骨折は活動中2件、グループホーム内で1件。包帯等で固定して福祉館で活動するも転んでしまったり、ひびが大きくなり骨折になってしまい完治に時間がかかった。今後はしっかりギブス等で固定をしてもらうことや福祉館の活動も配慮してけが後の対応は丁寧に配慮していく。

・パンの異物関係は多数。髪の毛や繊維、虫の異物が多かった。納品前に発見ができたのもあるが納品してしまい苦情になったケースもあった。保育園のパンに髪の毛が混入しその保育園が昨年度プラスチック片が入った同じ園だった為3度目はないように厳しく注意を受けた。粉塵除去機や、使い捨てネット、粘着性のマットを導入し対策を講じた。

10 広報活動

奥戸福祉館全体の活動を伝えるご家庭向けの通信を年2回発行した。

定期発行の2回のみで、臨時発行の2回分は作成・発行する事が出来なかった。

新人職員（異動されて来た職員含）の紹介、パンの販売会等のお知らせ等、各グループの活動をお知らせする事が出来た。

原町かわら版は法人の広報委員会と協力し、編集作業・印刷・封入発送を行い、年4回の発行をした。フェイスブックを定期的に更新し開示した。

11 防災安全管理

(1) 訓練時は本田消防署へ自衛消防訓練通知書を届け出のうえ実地した。

実施日	種別	訓練内容
4月24日	防災教育	消火器使用について教育。(利用者・職員)
5月15日	避難訓練	地震発生による避難、及び通報訓練。
7月24日	避難訓練	火災発生による避難訓練。
9月11日	避難訓練	火災発生による避難、及び通報訓練。
1月15日	避難訓練	地震発生による避難訓練。
2月19日	防災教育	震災ビデオ上映、避難時の注意点確認。(利用者・職員)
3月25日	総合避難訓練	火災発生による総合避難訓練。

(2) 葛飾区地域防災無線の定期通信訓練を行った。(毎月第3水曜日)

(3) 火気施設点検を確実に実施した。

(4) 防災用伝言ダイヤルにメッセージを吹き込む訓練を行った。(毎月1日・15日)

(5) 避難経路の見直しを行い、避難時間の短縮に努めた。

→利用者再編成(車椅子使用者を1Fに配置替え)により、避難訓練時間が初回約14分から1月度約7分で、避難を終える事が出来ており、約7分の短縮となっている。

12 苦情解決事業

・苦情として6件。職員の対応について4件。販売会2件でそれぞれ速やかに対応した。

III 管理運営

1 職員研修

(1) 外部研修・講習会参加実績

研修・講習会・会議名
FVP いい職場づくり隊
都通研
新しい事例検討のあり方を学ぶ
ベーカリーカフェジャパン
パワーアップフォーラム
都通研(自閉症当事者の世界へ)
強度行動障害メディカルセミナー
ダウン症成人期の支援を考える
就労支援フォーラム

東社協 三年目職員研修
給付費請求業務の基礎知識
工賃アップセミナー
食品適正表示推進育成講習会
虐待防止・権利擁護研修
感染症の基礎知識と予防策
全国知的障害福祉関係職員研究大会
強度行動障害支援アドバイス研修
フジシヨク講習会
都通研 人を育てるパート2
都通研 重症心身障害者の地域生活と通所施設
の職員役割
施設のためのビジネス基礎講座
行動援護従事者養成研修
食品表示講習会
ダウン症支援継続セミナー
チームリーダー強化研修
製パン力向上研修会
部下の特性に応じたラインケアとは
都通研 個別支援計画とサービス等利用計画
食品衛生責任者養成講習会
感情マネジメント研修